

製品名: ACTC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03346**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTC1
別名	ACTC1; ACTC; Actin; alpha cardiac muscle 1; Alpha-cardiac actin; ACTA1; ACTA; Actin; alpha skeletal muscle; Alpha-actin-1; ACTA2; ACTSA; ACTVS; GIG46
遺伝子 ID	70
SwissProt ID	P68032
免疫原	-

背景

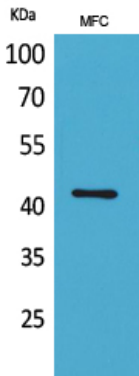
アクチンは、さまざまな種類の細胞運動に関与する高度に保存されたタンパク質であり、すべての真核細胞で普遍的に発現している

す。

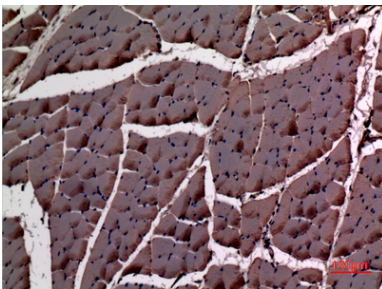
研究分野

シグナル伝達

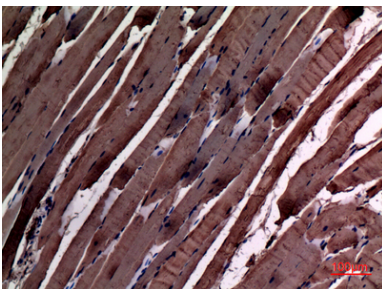
画像データ



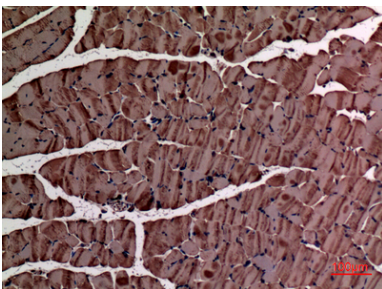
ACTC1 抗体を使用した MFC 溶解物中の ACTC1 のウェスタン ブロット分析。



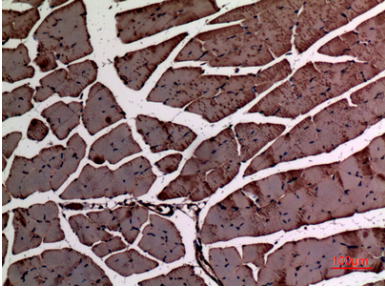
ACTC1 抗体を使用したパラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ACTC1 抗体を用いたパラフィン包埋ラット筋の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



ACTC1 抗体を使用したパラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ACTC1 抗体を使用したパラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。